

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	兵庫小学校建設事業				コード	01	10	02	01	03
2	担当部課	教育部				学校教育課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	大項目	II	次代を担う子どもたちの生きる力を育	中項目	1	教育環境を充実し、家庭や地域との連				
		小項目	3	(3) 学校教育環境の整備・充実							

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	兵庫小学校学区の児童			
2	働きかける相手(対象)	SPC (PFI契約会社)			
3	どのような状態にしたいのか(意図)	小学校校舎、体育館、プール、児童館他を建設します。			
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	兵庫小学校施設整備事業		
		工事期間	平成 16 年度～平成 33 年度	平成 年度～平成 年度	平成 年度～平成 年度
		全体工事概要	SPCが小学校校舎、体育館、プール、児童館等を建設しました。		
		評価年度の実施内容	校舎9,271㎡、屋内運動場1,143㎡、屋外水泳プール、児童館463㎡の購入		
		予定全体事業量 [A]	10877 ㎡		
		評価年度までの事業量 [Σ a]	10877 ㎡		
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	100 %		
		予定全体直接事業費 [B]	2425887286 円		
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	1761824360 円		
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	72.6 %		
		評価年度の事業量 [a]	0 ㎡		
評価年度の直接事業費 [b]	73435611 円				
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0 円				
5	直接事業費計	前年度決算額	73,371,486 円	決算額	73,435,611 円

6 コストの推移	項 目	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	直接事業費① (②+③+④)	73,371,486	73,435,611	73,502,000
	一般財源②	73,371,486	73,435,611	73,502,000
	起 債 ③	0	0	0
	そ の 他 ④	0	0	0
	概 算 人 件 費 ⑤	164,990	162,280	
	総 合 計 (① + ⑤)	73,536,476	73,597,891	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	73,536,476	73,597,891	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	兵庫小学校施設整備事業		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	都市計画道路整備事業				コード	01	08	02	02	03
2	担当部課	経済建設部				建設課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	大項目	V	産業が活性化し、快適でいつまでも住	中項目	6	安心して通行できる道路網を整備する				
		小項目	1	(1) 都市計画道路の整備							

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人									
2	働きかける相手(対象)	都市計画道路									
3	どのような状態にしたいのか(意図)	幹線道路の整備を図り、通行車両等の通行が円滑にできるようにします。									
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	東郷・三好線								
		工事期間	平成 16 年度～平成 24 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度		
		全体工事概要	工事延長 L = 250m 用地取得 A = 2840.89㎡ 公社買戻し								
		評価年度の実施内容	用地取得 (土地開発公社) 134.00㎡ (累計 2840.89㎡)								
		予定全体事業量 [A]	250m								
		評価年度までの事業量 [Σ a]	130m								
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	52%						%		%
		予定全体直接事業費 [B]	214598319円						円		円
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	134598319円						円		円
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	62.7%						%		%
評価年度の事業量 [a]	0m										
評価年度の直接事業費 [b]	5659740円						円		円		
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0円						円		円		
5	直接事業費計	前年度決算額			11,378,700 円		決算額		5,659,740 円		

6 コストの推移	項 目	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	直接事業費① (②+③+④)	11,378,700	5,659,740	1,000
	一般財源②	11,378,700	5,659,740	1,000
	起 債 ③	0	0	0
	そ の 他 ④	0	0	0
	概算人件費⑤	1,223,046	319,659	
	総合計 (① + ⑤)	12,601,746	5,979,399	
	町費投入額(②+③+⑤)	12,601,746	5,979,399	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	東郷・三好線	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	みよし市区画整理事業の動向次第では、工事実施時期の調整が必要です。	
3 建設事業評価コメント	予算面については、関係部局と十分に協議し、円滑な予算執行をします。また、みよしの事業を把握し、手戻り等のないように努める必要があります。	

工事・路線名 (2)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

工事・路線名 (3)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	みよし市と調整を図り、早期の事業着手に努めます。
------------------	--------------------------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	道路新設改良事業(単独)				コード	01	08	02	02	01
2	担当部課	経済建設部				建設課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	大項目	V	産業が活性化し、快適でいつまでも住	中項目	6	安心して通行できる道路網を整備する				
		小項目	3	(3) 暮らしやすい道路の形成							

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人										
2	働きかける相手(対象)	道路										
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行が円滑にできるようにします。										
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	白土・涼松地区									
		工事期間	平成 22 年度～平成 27 年度		平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度		
		全体工事概要	用地取得 A = 142.72m ² 公社買戻し									
		評価年度の実施内容	用地取得 (土地開発公社) 28.54 m ² (累計 71.37 m ²)									
		予定全体事業量 [A]	142.72 m ²						m			
		評価年度までの事業量 [Σ a]	71.37 m ²						m			
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	50 %						%			%
		予定全体直接事業費 [B]	12635056 円						円			円
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	6352936 円						円			円
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	50.3 %						%			%
		評価年度の事業量 [a]	28.54 m ²						m			
評価年度の直接事業費 [b]	2532504 円						円			円		
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	88735.248774 円						円			円		
5	直接事業費計	前年度決算額		7,094,654 円		決算額		2,532,504 円				

6 コストの推移	項 目	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	直接事業費① (②+③+④)	7,094,654	2,532,504	14,534,000
	一般財源②	7,094,654	2,532,504	14,534,000
	起 債 ③	0	0	0
	そ の 他 ④	0	0	0
	概算人件費⑤	4,892,184	319,659	
	総合計 (① + ⑤)	11,986,838	2,852,163	
	町費投入額(②+③+⑤)	11,986,838	2,852,163	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	白土・涼松地区		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	補助事業が終了したため、今後は単独事業として計画的に事業執行を行います。		
3 建設事業評価コメント	予算の執行については、計画的に執行します。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	河川整備事業				コード	01	08	03	01	02
2	担当部課	経済建設部				建設課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	大項目	V	産業が活性化し、快適でいつまでも住	中項目	6	安心して通行できる道路網を整備する				
		小項目	3	(3) 暮らしやすい道路の形成							

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	歩行者											
2	働きかける相手(対象)	歩道											
3	どのような状態にしたいのか(意図)	安全な歩行者空間を確保します。											
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	春木川ウォーキングロード										
		工事期間	平成 22 年度～平成 27 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度				
		全体工事概要	工事延長 L = 1, 225m 舗装工 A = 1, 977㎡ 車止め設置工 N = 31箇所 転落防止柵設置工 L = 105m 照明灯設置工 N = 6基 案内板設置工 N = 4箇所										
		評価年度の実施内容	平成24年度は、実績はありません。										
		予定全体事業量 [A]	1225										
		評価年度までの事業量 [Σ a]	720										
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	58.8 %									%	%
		予定全体直接事業費 [B]	32183750円									円	円
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	7848750円									円	円
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	24.4 %									%	%
		評価年度の事業量 [a]	720										
評価年度の直接事業費 [b]	0円									円	円		
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0円									円	円		
5	直接事業費計	前年度決算額				0円	決算額				0円		

6 コストの推移	項 目	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	直接事業費① (②+③+④)	0	0	0
	一般財源②	0	0	0
	起 債 ③	0	0	0
	そ の 他 ④	0	0	0
	概算人件費⑤	0	0	
	総合計(①+⑤)	0	0	
	町費投入額(②+③+⑤)	0	0	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	春木川ウォーキングロード		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	東郷セントラル土地区画整理事業の進捗状況を把握し、事業実施内容等を検討する必要があります。		
3 建設事業評価コメント	河川の親しみやすさを進める必要があります。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	東郷セントラル土地区画整理事業の進捗状況を把握し、事業の進展に努めます。
------------------	--------------------------------------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	公共下水道建設事業				コード	09	02	02	02	01
2	担当部課	経済建設部				下水道課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	大項目	V	産業が活性化し、快適でいつまでも住	中項目	8	安定した水道の供給と下水の的確な処				
		小項目	2	(2) 市街化区域の下水道整備							

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	下水道認可区域内の地権者及び町民									
2	働きかける相手(対象)	下水道認可区域内の受益地									
3	どのような状態にしたいのか(意図)	公共用水域の水質を改善することにより、町民生活の環境衛生を向上するようにします。									
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	建設事業								
		工事期間	平成 1 年度～平成 25 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度		
		全体工事概要	事業認可取得区域・市街化区域516haの公共下水道の整備								
		評価年度の実施内容	整備面積 3.9ha 整備延長 2.1km 接続件数 372件								
		予定全体事業量 [A]	516ha								
		評価年度までの事業量 [Σ a]	483ha								
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	93.6%								
		予定全体直接事業費 [B]	17968467000円								
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	15140780817円								
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	84.3%								
		評価年度の事業量 [a]	3.9ha								
評価年度の直接事業費 [b]	240141130円										
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	61574648.718円										
5	直接事業費計	前年度決算額	288,282,654 円				決算額	240,141,130 円			

6 コストの推移	項 目	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	直接事業費① (②+③+④)	288,282,654	240,141,130	214,324,000
	一般財源②	72,587,392	58,198,182	76,384,000
	起 債 ③	122,700,000	89,200,000	79,200,000
	そ の 他 ④	92,995,262	92,742,948	58,740,000
	概 算 人 件 費 ⑤	26,162,708	25,195,316	
	総 合 計 (① + ⑤)	314,445,362	265,336,446	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	221,450,100	172,593,498	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	建設事業	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	白土地区の整備を重点的に実施しており、計画どおりに事業が進捗しています。整備後の維持管理費軽減のため、可能な範囲で自然流下での整備の検討を行います。	
3 建設事業評価コメント	公共用水域の水質改善が急務とされているため、DID地区の下水道整備を早急に行う必要があります。下水道事業についてコスト縮減意識を持って実施設計を行い、平成26年度の白土地区の一部の供用開始を目指して整備を進める必要があります。	

工事・路線名 (2)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

工事・路線名 (3)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	社会資本整備総合交付金の縮減に伴い下水道事業費の確保が困難なため、関係機関と協議しつつ、工法及び施工方法等を検討しコスト縮減に努めます。
------------------	--